

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果

フリガナ	フクノハラバシ		地区名	岡原		点検年月日	2010.1.27		橋梁番号	NO	H21-25	
橋梁名	福之原橋		架設年次	西暦	1976	点検会社	株式会社 シビコン		健全度	コード	3075-2	
所在地	岡原北字宮野			和暦	S51		点検者	桑原 和秀		5段階(A~E)	100点満点	
経度	130° 56' 18.353"	緯度	32° 14' 04.472"	河川名	井口川		連絡先	096-340-1733		C		53

路面位置	上路橋	上部工	構造形式	プレテン床版橋		桁数	9		総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築造34年のPC床版橋。 ・ 橋面はCo舗装のひびわれ、土砂詰り、伸縮装置からの漏水が見られる。特に舗装ひびわれは床版の遊離石灰の誘因となっているため、機会をみて舗装打ち換えや定期的な土砂の除去が必要である。
橋梁種別	河川橋		使用材料	PC橋						
橋長	18.00		床版材料	コンクリート系						
最大支間長	17.60		下部工	構造形式	重力式橋台	基数	2			
径間数	1			基礎形式	直接基礎					
			支承形式	平面支承		基数	2			

幅員	全幅員	有効幅員	左				右			
			地覆幅	歩道幅	車道幅	車線数	車道幅	車線数	歩道幅	地覆幅
	5.80	5.00	0.40	-	5.00	1	-	-	-	0.40

部材区分	損傷の概要	部材損傷度(最低値)	損傷の種類	損傷度	処置
1)高欄	・ 全体的に経年劣化が見られる。	C	19 変色・劣化	C	
2)橋面	・ 全体的にCo舗装に無数のひびわれが見られる。 ・ 上下流側地覆際に土砂詰りが見られる。 ・ A1A2橋台共に伸縮装置からの漏水が見られる。	E	27 舗装ひびわれ 24 土砂詰り 20 漏水・滞水	E E E	
3)地覆	・ 全体的に経年劣化が見られる。 ・ 上流側のA1寄りに欠損が見られる。	C	19 変色・劣化 23 変形・欠損	C C	
4)床版	・ G1G2間、G8G9間に全長に渡りつらら状の遊離石灰(錆汁あり)が見られる。 ・ G2G3間、G3G4間に一部つらら状の遊離石灰(錆汁あり)が見られる。	E	08 漏水・遊離石灰	E	
5)桁輪石	・ 全体的に10cm程度の欠損が見られる。	C	23 変形・欠損	C	
6)支承	・ 特に損傷なし。	A	損傷なし	A	
7)橋台	・ 特に損傷なし。	A	損傷なし	A	
8)橋脚	・ 該当なし。	-			
9)その他		-			


点検調書(その2-1) 現地状況写真	
フリガナ	フケノハラバシ
橋梁名	福之原橋

橋梁番号	NO	H21-25
	コード	3075-2
健全度	5段階(A~E)	100点満点
	C	53

現地状況写真	部材名	側面全景 (上流より撮影)	部材損傷度	損傷種類	損傷度	部材名	幅員全景 (左岸より撮影)	部材損傷度	損傷種類	損傷度		
	写真番号	P002				写真番号	P003					
				損傷概要						損傷概要		
	部材名	1) 高欄	部材損傷度	損傷種類	損傷度	部材名	2) 橋面	部材損傷度	損傷種類	損傷度		
	写真番号	P005, 006	C	19 変色・劣化	C	写真番号	P014, 015, 016	E	27 舗装ひびわれ 24 土砂詰り 20 漏水・滞水	E E E		
	 下流側			損傷概要						損傷概要		
	 上流側			・ 全体的に経年劣化が見られる。			A1側			A2側		
										・ 全体的にCo舗装に無数のひびわれが見られる。 ・ 上下流側地覆際に土砂詰りが見られる。 ・ A1A2橋台共に伸縮装置からの漏水が見られる。		



点検調書(その2-2) 現地状況写真	
フリガナ	フケノハラバシ
橋梁名	福之原橋

橋梁番号	NO	H21-25
	コード	3075-2
健全度	5段階(A~E)	100点満点
	C	53

現地状況写真	部材名	3) 地覆	部材損傷度	損傷種類	損傷度	部材名	4) 床版	部材損傷度	損傷種類	損傷度
	写真番号	P010, 013	C	19 変色・劣化 23 変形・欠損	C C	写真番号	P019	E	08 漏水・遊離石灰	E
	 <p>下流側</p>		 <p>上流側</p>		<p>損傷概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に経年劣化が見られる。 ・ 上流側のA1寄りに欠損が見られる。 				<p>損傷概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ G1G2間, G8G9間に全長に渡りつらら状の遊離石灰(錆汁あり)が見られる。 ・ G2G3間, G3G4間に一部つらら状の遊離石灰(錆汁あり)が見られる。 	
	部材名	5) 桁	部材損傷度	損傷種類	損傷度	部材名	6) 支承	部材損傷度	損傷種類	損傷度
	写真番号		C	23 変形・欠損	C	写真番号		A	損傷なし	A
			<p>損傷概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に10cm程度の欠損が見られる。 				<p>損傷概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に損傷なし。 			

点検調書(その2-3) 現地状況写真	
フリガナ	フケノハラバシ
橋梁名	福之原橋

橋梁番号	NO	H21-25
	コード	3075-2
健全度	5段階(A~E)	100点満点
	C	53

現地状況写真	部材名		7) 橋台		部材損傷度	損傷種類	損傷度
			A1橋台	A2橋台	A	損傷なし	A
	写真番号		P020	P029			
					損傷概要 ・特に損傷なし。		
	部材名		8) 橋脚		部材損傷度	損傷種類	損傷度
			P1橋脚	P2橋脚	-		
	写真番号						
			/		損傷概要 ・該当なし。		

点検調書(その2-4) 現地状況写真	
フリガナ	フケノハラバシ
橋梁名	福之原橋

橋梁番号	NO	H21-25
	コード	3075-2
健全度	5段階(A~E)	100点満点
	C	53

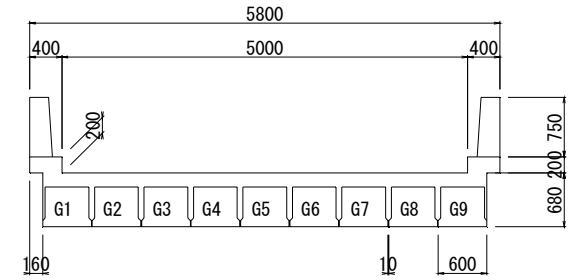
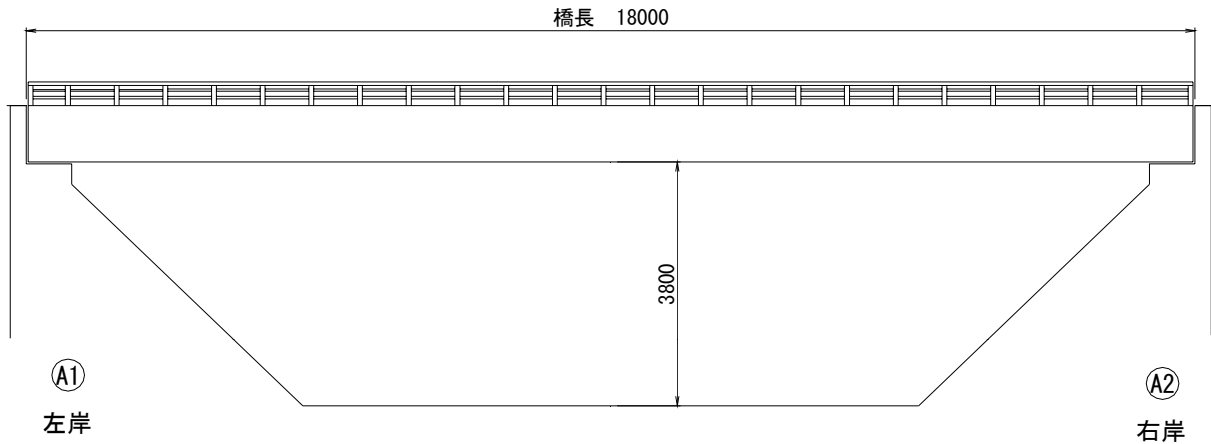
現地状況写真	部材名	9) その他	部材損傷度	損傷種類	損傷度	
	写真番号	P031, 032	—			
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>清掃後</p> </div> </div>			損傷概要		
	部材名	橋名板等	部材損傷度	損傷種類	損傷度	
	写真番号	P033, 034, 035, 036	—	—	—	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>			損傷概要		

点検調書(その3-1) 損傷図	
フリガナ	フクノハラバシ
橋梁名	福之原橋

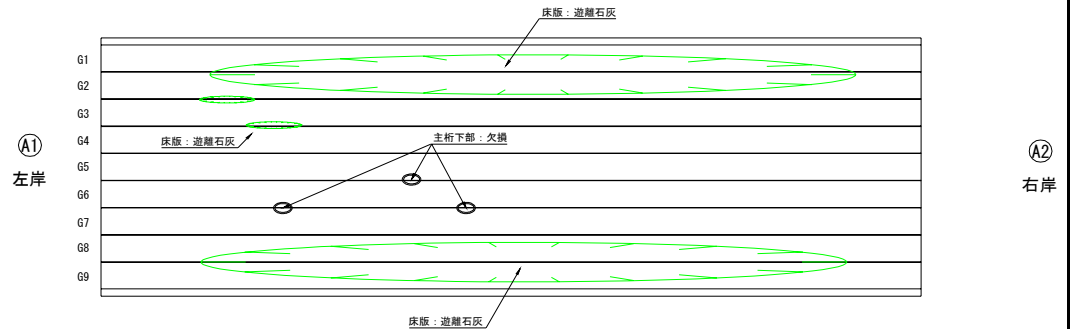
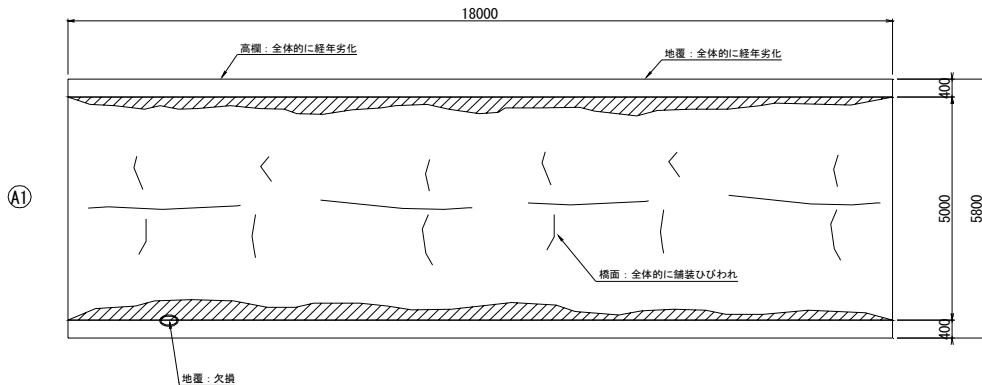
橋梁番号	NO	H21-25
	コード	3075-2
健全度	5段階(A~E)	100点満点
	C	53

構造一般図(側面図:上流から望む)

構造一般図(横断面:左岸から望む)



損傷図(上部工)

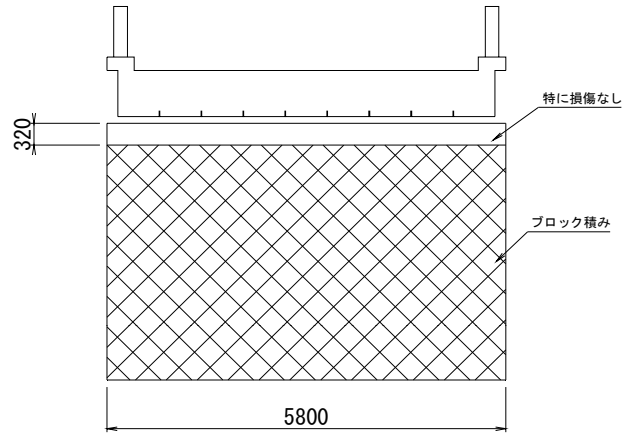


- 項目
- 鉄筋露出
 - かけ、はく離
 - ウキ
 - ジャンカ
 - 遊離石灰
 - ひびわれ
 - 鋼材腐食
 - 滞水

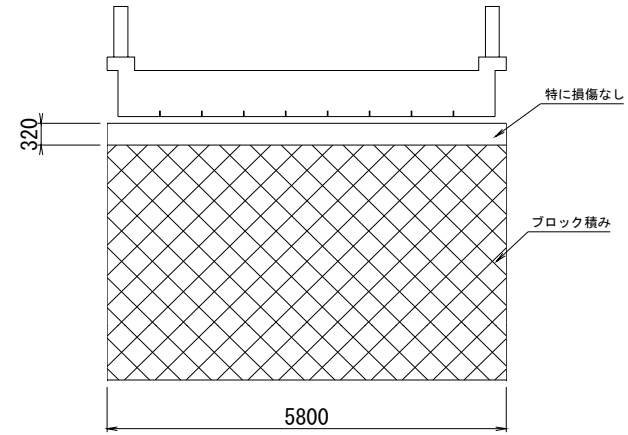
点検調書(その3-2) 損傷図	
フリガナ	フクノハラバシ
橋梁名	福之原橋

橋梁番号	NO	H21-25
	コード	3075-2
健全度	5段階(A~E)	100点満点
	C	53

損傷図 (下部工：A1橋台)



損傷図(下部工:A2橋台)



損傷図 (下部工：橋脚)

項目	
	鉄筋露出
	かけ、はく離
	ウキ
	ジャンカ
	遊離石灰
	ひびわれ
	鋼材腐食
	滞水